



大分合同新聞 2023年5月3日（水）朝刊 12面

5日に4年ぶり どんこ釣り大会

犬飼町「家族一緒に楽しんで」

【豊後大野】4年ぶりとなる「犬飼名物どんこ釣り大会」（大会実行委員会、大分合同新聞社主催）は5日、豊後大野市犬飼町久原の犬飼大橋下流河川敷である。1929年から続く子どもの日の恒例行事で、80回目。実行委が参加を呼び



「家族一緒に来場し、思い出をつくりませんか」と呼びかける橋本忠典実行委員長

かけている。午前8時〜10時半に受け付け、同11時半〜午後0時半に計量。釣ったドンコの総重量で順位を決める。5位まで表彰し、大物賞などもある。参加料は1人500円（餌付き）。釣り具一式のレンタルもある。小学生以下を対象にした宝探しやじゃんけん大会の

他、家族で来ても楽しめるようおもちゃの魚を釣る幼児対象のゲーム（200円・参加賞付き）やドンコの生態学習会を開催。唐揚げ、焼きそば、たこ焼き、射的

などの出店もある。橋本忠典実行委員長（54）は「犬飼を代表するイベントの一つを久しぶりに開催できてうれしい。コロナ禍が落ち着きつつある中、家族一緒に河原で遊び、思い出に残る一日にしませんか」とPRしている。小雨決行、河川増水時は中止。旧犬飼小跡地などに駐車場を設けるが台数に限りがあるため、公共交通機関での来場を呼びかけている。問い合わせは市犬飼支所（097・578・111）。（山田志朗）

〔問①〕どんこ釣り大会が行われるのは何ねんぶりですか？

〔答え〕 4年ぶり

〔問②〕会場の場所はどこですか？

〔答え〕 豊後大野市犬飼町久原の犬飼大橋下流河川敷

〔問③〕実行委員長は参加した人たちにどんな一日にしてほしいとっていますか？

〔答え〕 家族一緒に河原で遊び、思い出に残る一日

〔問④〕どんことはどんな魚ですか。また、大野川には他にもどんな魚がいますか。自分で調べてみましょう。

〔問⑤〕コロナ禍の落ち着きにともない、復活または新設してほしいイベントを書きましょう。